

50th Anniversary

東大和市社会福祉協議会 法人化50周年記念誌



イメージキャラクター しやきよのたまちゃん

社会福祉法人 東大和市社会福祉協議会



野火止用水で散歩(新堀)



貯水池完成前の芋窪村慶性門



多摩モノレール(上北台)



仲原緑地(仲原)



上中原公園(向原)



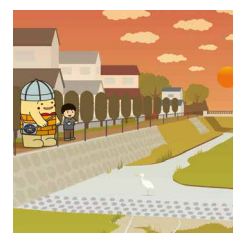
目次



東大和南公園と変電所(桜が丘)



高札場(蔵敷)



空堀川(清水)



市役所と市民広場(中央)

ごあいさつ 1

祝辞 2

東大和社協50年の歩み 4

最近10年間における新たな取組 10

法人化50周年記念事業 12

データで見る東大和社協 14

組織図・評議員・役員 16



二つ池(湖畔)



高木神社と獅子舞(高木)



豊鹿島神社(芋窪)



富士見通り(南街)

※イラストは、地域住民に「福祉」と「地域」への関心を啓発し、社協についてPRを図るために制作した、本会イメージキャラクターたまちゃんを活用したPR品「たまちゃんクリアファイル」のイラストです。市内17町の名所、景色が盛り込まれています。



狭山公園(狭山)



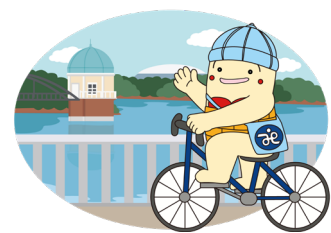
市民農園(立野)



八幡神社の大杉の根株(奈良橋)



東京街道団地(清原)



多摩湖でサイクリング(多摩湖)



法人化50周年を迎えて

社会福祉法人 東大和市社会福祉協議会
会長 中澤 正至

東大和市社会福祉協議会は、昭和48年に法人格を取得して、ここに50周年という記念すべき節目の年を迎えました。

これもひとえに、永年にわたり本会をご支援いただきました会員の皆様、行政をはじめ民生委員・児童委員協議会、自治会、関係機関・団体、さらには多くの市民の皆様からのご理解とご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

近年、少子高齢化の急速な進展により、社会福祉を取巻く環境は、著しく変化し多くの課題や問題が顕在化してきております。

とりわけ、誰もが予測すらできなかった新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に全世界に拡大し、人々の社会・経済活動に甚大な影響を及ぼすことになり、コロナ禍で特に顕在化した「生活困窮」や「孤独・孤立」といった新たな複合的な課題に対応した取組も必要となってきております。

このようなことから、本会におきましては、これまで地域のつながりを深めるため、実施してきました地域の居場所づくり活動を支える「ふれあいなごやかサロン活動」や地域による「見守り・声かけ活動」等の事業に加え、新たに「フードバンク事業」や「ひきこもり支援事業」等の地域福祉事業を積極的に展開してきました。

国におきましては、市民一人ひとりが福祉を「サービスの受け手と担い手」として考えるのではなく、当事者として「我が事」と考え、包括的な支援体制を構築していく「地域共生社会」の実現を目指しており、地域福祉推進の中心的な役割を担う社会福祉協議会には、身近な生活圏での多くの生活課題への対応や地域のつながりの再構築が求められています。

本会の「みんなの和社協プラン 第5次東大和地域福祉活動計画（令和3年度～令和8年度）」では、地域共生社会を見据えて、基本理念を「みんなで支え合い・つながり合って暮らせるまち ひがしやまと」と定め、地域共生社会の実現に向けた取組を進めております。

本会といたしましては、今後も市民の皆様をはじめ、東大和市、関係団体等と協働しながら、地域福祉の推進に全力を挙げて取り組んでまいります。

一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お祝いのことば

法人化50周年を祝して



東大和市長
和地 仁美

東大和市社会福祉協議会の法人化50周年、おめでとうございます。また、その歴史と輝かしい業績の数々を収録した「法人化50年記念誌」が発刊されましたことは、誠に喜ばしく、心よりお祝い申し上げます。

この半世紀、福祉分野においては数多くの社会的課題が発生し、幾重もの福祉制度が構築されました。こうした変化の中にあっても、貴協議会は常に先頭を走られ、地域福祉の推進を積極的に進められてきました。

近年では、新型コロナウイルス感染症により福祉サービスの提供が危ぶまれましたが、会長をはじめ職員の皆様の並々ならぬご努力により、貴協議会のサービスは維持され、このことが他の事業者にも積極的な影響を与え、地域全体の福祉サービスの継続につながったものと認識しております。

市は「健康であたたかい心のかよいあうまちづくり」をテーマに、市民の皆様誰もが心身ともに健康で幸せに暮らすことができるまちづくりを進めております。このテーマの実現には、地域共生社会の構築が不可欠であり、市民の主体的取組みの促進や多機関連携の構築など息の長い取組が必要です。今後も、地域福祉の推進を使命とする貴協議会と市とのパートナーシップを更に強化し、共に地域共生社会の実現に努めてまいりたいと考えております。

結びに、貴協議会のますますのご発展と、会長をはじめ会員の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

法人化50周年を祝して



東大和市議会
議長 東口 正美

本年、社会福祉法人東大和市社会福祉協議会が法人化50周年を迎えられますことに対し、東大和市議会を代表し、心からお慶びを申し上げます。

さて、貴協議会は、昭和46年に任意団体として設立、昭和48年には法人化され、当初は、奈良橋にあった旧市役所庁舎の近くに小さな事務所を構えられ、事務局長以下3名の職員体制であったと伺っております。

それ以来、今日のような組織に発展されたことは、中澤正至会長をはじめ歴代の会長、役員・会員並びに事務局職員の皆様方の、並々ならぬご努力・ご尽力の賜物であり、市民の皆様、関係者の皆様からの温かいご支援・ご協力によるお力添えに対しまして、深く敬意を表するものであります。

東大和市におきましても、少子・高齢化社会の進展とともに、地域社会のつながりが希薄化している中で、孤独・孤立の問題の顕在化や、ひきこもりや生きづらさを感じる方への対応、権利擁護・成年後見制度への対応など、地域福祉の推進にあたり、貴協議会の果たす役割は、今後益々重要になってまいります。今後も「福祉の心」を大切に、様々な地域福祉事業の展開にご尽力いただきますよう、心からお願い申し上げます。

市議会といたしましても、市民の皆様方にとりまして、心の温まるサービスがより一層拡充されますよう、力を尽くしてまいりたいと存じます。

結びに、貴協議会の益々のご発展と、役員・会員並びに事務局職員の皆様方のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げます。私からのお祝いのご挨拶とさせていただきます。

お祝いのことば

東大和市社協法人化50周年を祝して



東京都社会福祉協議会
会長 木村 恵司

東大和市社会福祉協議会が地域福祉の拠点として、ここに法人化50周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

東大和市社会福祉協議会は、昭和46年に設立され、昭和48年に法人化されて以来、地域住民の積極的な参加を得て、地域福祉の推進に尽力されてこられました。

近年は少子化による人口構造の変化や孤独・孤立の問題、各地で起こる自然災害をはじめとするさまざまな課題が複合化し、私たちの生活に影響を及ぼしています。また地域活動の再開やコロナ禍において顕在化した課題の解決が期待されるなど、社協の果たす役目もますます大きくなっています。

そのような中、貴会におかれましては、「みんなで支え合い・つながり合って安心して暮らせるまち ひがしやまと」を基本理念とする第5次東大和市地域福祉活動計画を令和3年3月に作成され、ひきこもり支援施策、地域生活支援拠点事業及び中核機関設置に向けた取り組みの推進をはじめとする7つの重点項目を含めた様々な活動に取り組まれております。

東京都社会福祉協議会といたしましては、このような取組みに深く敬意を表しますとともに、地域福祉の充実に連携して取り組んでまいりたいと存じます。

法人化50周年を迎え、東大和市社協がこれまで以上に住民の参加を得て、また、関係機関・団体との連携・協働により、一層の飛躍をとげられますよう祈念申し上げますお祝いの言葉といたします。

法人化50周年を祝して



東大和市民生委員・
児童委員協議会
会長 樋口 健次

このたび、東大和市社会福祉協議会が記念すべき法人化50周年を迎えられたことを、心からお慶び申し上げます。

貴法人は、昭和48年の法人化以来、地域福祉の推進をはじめ、高齢者や障がい者、生活困窮者の支援に加え、権利擁護・成年後見の促進や地域に根差した多様な事業を展開し、今日まで発展されてこられました。改めまして、敬意を表する次第でございます。

近年、少子高齢化により人口減少や単身世帯の増加が進み、地域や近隣との繋がりが希薄化することにより、社会的孤立に陥る人々が増加しています。さらに、新型コロナウイルスによる経済の停滞や、様々な要因から、経済的困難や生活苦に直面する人々も増えていきます。そのような状況の中、貴法人は、ひきこもり支援事業やフードバンク事業など、常に時代のニーズに合わせたきめ細かい対応を行っていただいております。民生委員・児童委員の大切な職務である地域住民の困りごとを解決に繋げるための、頼もしい相談先として、いつも心強い存在と感じています。

これまで、民生委員・児童委員と社会福祉協議会は、生活福祉資金や見守り・声かけ活動、福祉祭、その他多くの事業で、車の両輪のように連携を重ねてまいりました。今後も、地域福祉の向上のため、協力して共に活動して参りたいと思います。

結びに、法人化50周年という輝かしい歴史を礎に、東大和市社会福祉協議会が益々ご発展されますよう、ご祈念申し上げますお祝いの言葉とさせていただきます。

東大和社協50年の歩み (1971-1982)

年	社会福祉協議会のできごと	社会のできごと
昭和46年 (1971)	<ul style="list-style-type: none"> 東大和市社会福祉協議会創設 世帯更生資金貸付事業開始 歳末たすけあい運動開始 	<ul style="list-style-type: none"> 全日空機墜石衝突事故
昭和47年 (1972)	<ul style="list-style-type: none"> 応急小口資金貸付事業開始 社協だより創刊号発行 	<ul style="list-style-type: none"> 札幌五輪開催 あさま山荘事件 沖縄返還
昭和48年 (1973)	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会法人登記 友愛訪問事業開始 福祉バザー開催 	<ul style="list-style-type: none"> 第1次オイルショック
昭和49年 (1974)	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア育成講座開始 敬老はがき事業開始 	<ul style="list-style-type: none"> 巨人の長嶋茂雄引退
昭和50年 (1975)	<ul style="list-style-type: none"> 社協事業を4分野に分け、各委員会設置 母子・父子家庭実態調査実施 心配ごと相談所開設 障害者実態調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> ベトナム戦争終結
昭和51年 (1976)	<ul style="list-style-type: none"> 手をつなぐ親の会主催のクリスマス会後援 (昭和52年から社協主催) 	<ul style="list-style-type: none"> ロッキード事件
昭和52年 (1977)	<ul style="list-style-type: none"> 手話講座開始 老人歩こう会の開始 (ふれあい歩こう会) ボランティアだより創刊号発行 90歳以上長寿祝金支給事業開始 	<ul style="list-style-type: none"> 巨人の王貞治世界新記録の756本塁打
昭和53年 (1978)	<ul style="list-style-type: none"> 老人給食調査実施(ひとり暮らしの高齢者を対象) 福祉バザーの規模を拡大し、第一回福祉祭開催 	<ul style="list-style-type: none"> 新東京国際空港(成田空港)開港
昭和54年 (1979)	<ul style="list-style-type: none"> のぞみ集会所にボランティアルーム開所 	<ul style="list-style-type: none"> マザーテレサ、ノーベル平和賞受賞 インベーダーゲーム大流行
昭和55年 (1980)	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児耳の相談開始 ボランティア推進事業の指定を受ける あいさつ運動開始 	<ul style="list-style-type: none"> イラン、イラク戦争
昭和56年 (1981)	<ul style="list-style-type: none"> 父子家庭懇談会開始 朗読ボランティア講座開始 	<ul style="list-style-type: none"> チャールズ英皇太子婚礼 国際障害者年
昭和57年 (1982)	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアスクール開始 父子家庭レクリエーション大会の開催 福祉バス運行事業開始 	<ul style="list-style-type: none"> ホテルニュージャパン火災

※以下太字は写真を掲載

東大和社協50年の歩み(1983-1992)



年	社会福祉協議会のできごと	社会のできごと
昭和58年 (1983)	<ul style="list-style-type: none"> •声の広報事業開始 •点字講座開始 	<ul style="list-style-type: none"> •三宅島雄山大噴火
昭和59年 (1984)	<ul style="list-style-type: none"> •法人化10周年記念事業実施 •老人給食サービス事業試行実施 •社協事務所移転 (奈良橋4丁目から中央3丁目へ) •児童・生徒のボランティア 推進校指定開始 •3か年地域福祉計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> •グリコ・森永事件 •平均寿命、男女とも世界一となる
昭和60年 (1985)	<ul style="list-style-type: none"> •精神障害者の問題を考えるつどい開催 •老人給食サービス事業の開始 (ボランティア配食による) 	<ul style="list-style-type: none"> •日航ジャンボ機墜落事故 •電電公社民営化(NTT発足) •男女雇用機会均等法公布
昭和61年 (1986)	<ul style="list-style-type: none"> •在宅障害者を考える東大和市のつどい開催 •老人のニーズ調査実施 •父子家庭ふれあい事業開催 	<ul style="list-style-type: none"> •「チャレンジャー号」爆発事故 •チェルノブイリ原子力発電所事故 •改正老人保健法公布
昭和62年 (1987)	<ul style="list-style-type: none"> •一人暮らし老人屋外懇親事業開始 •歳末たすけあい運動検討委員会設置 •社会福祉協議会意向調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> •国鉄分割民営化(JR発足) •精神保健法公布
昭和63年 (1988)	<ul style="list-style-type: none"> •夏!体験ボランティア事業開始 •老人介護講座開始 	<ul style="list-style-type: none"> •青函トンネル開通
平成元年 (1989)	<ul style="list-style-type: none"> •老人有料ホームヘルプサービス意識調査並びに心身障害者、ひとり親世帯実態調査の実施 •視覚障害者ガイドヘルパー派遣事業開始 	<ul style="list-style-type: none"> •昭和天皇崩御、元号は「平成」 •消費税スタート(税率3%) •ベルリンの壁崩壊
平成2年 (1990)	<ul style="list-style-type: none"> •さわやかサービス事業開始 	<ul style="list-style-type: none"> •東西ドイツ統一 •イラク軍クウェート侵攻 •福祉関係8法改正
平成3年 (1991)	<ul style="list-style-type: none"> •障害者日帰りレクリエーション事業開始 •老人給食サービス事業の配食回数増加 	<ul style="list-style-type: none"> •湾岸戦争 •ソビエト連邦崩壊 •雲仙普賢岳大火砕流発生
平成4年 (1992)	<ul style="list-style-type: none"> •手話通訳派遣事業開始 •高齢者福祉電話相談事業開始 	<ul style="list-style-type: none"> •自衛隊PKO部隊カンボジア派遣

東大和社協50年の歩み(1993-2002)

年	社会福祉協議会のできごと	社会のできごと
平成5年 (1993)	<ul style="list-style-type: none"> 共同募金会東大和地区協力会設置 車椅子貸与事業開始 赤い羽根共同募金運動実施 法人化20周年記念事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> 皇太子小和田雅子さん結婚の儀 心身障害者対策基本法を障害者基本法へ改正
平成6年 (1994)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者給食サービス事業の配食回数増加 	<ul style="list-style-type: none"> 松本サリン事件 高齢人口14%超(高齢社会)
平成7年 (1995)	<ul style="list-style-type: none"> 第一次地域福祉活動計画「みんなの和社協プラン」策定(平成7年度～平成11年度) ひとり暮らし高齢者の会発足 	<ul style="list-style-type: none"> 阪神・淡路大震災 地下鉄サリン事件 精神保健法を精神保健及び精神障害者福祉に関する法律へ改正
平成8年 (1996)	<ul style="list-style-type: none"> 事務所増築 ふれあいのまちづくり事業開始 高齢者ホームヘルパー派遣事業開始 有料食事サービス「おひるですよ」開始 勤労者ボランティア講座開始 	<ul style="list-style-type: none"> 病原性大腸菌O-157集団食中毒発生
平成9年 (1997)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者実態意向調査実施 障害者ホームヘルパー派遣事業開始 精神保健まちづくり講座開始 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道拓殖銀行破綻、山一証券が経営破綻
平成10年 (1998)	<ul style="list-style-type: none"> 有料食事サービス「おひるですよ」の配食回数増加 	<ul style="list-style-type: none"> 長野五輪開催 特定非営利活動促進法施行
平成11年 (1999)	<ul style="list-style-type: none"> 法人化25周年記念事業実施 さわやかサービス子育て支援事業開始 ケアマネジメントセンター開設 	<ul style="list-style-type: none"> 東海村JCO臨界事故
平成12年 (2000)	<ul style="list-style-type: none"> 見守り・声かけ活動実施 ホームヘルパーステーション開設 高齢者給食サービスと「おひるですよ」が統合され、高齢者食事サービスとして一本化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉基礎構造改革 介護保険制度施行 改正成年後見制度施行
平成13年 (2001)	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の総合学習授業への参加、協力開始 ひとり親ホームヘルパー派遣事業開始 	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ同時多発テロ
平成14年 (2002)	<ul style="list-style-type: none"> NPO入門講座・ボランティア講座開始 精神障害者ホームヘルパー派遣事業開始 	<ul style="list-style-type: none"> 「ユーロ」の流通が開始 FIFAワールドカップ日韓大会が開催



東大和社協50年の歩み(2003-2012)

年	社会福祉協議会のできごと	社会のできごと
平成15年 (2003)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者支援費事業によるホームヘルパー派遣開始 ・精神障害者地域生活支援センターウエルカム開設 ・事務所増築 ・法人化30周年記念事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラク戦争 ・障害者支援費制度施行
平成16年 (2004)		<ul style="list-style-type: none"> ・スマトラ沖地震発生 ・年金改革法成立 ・改正児童虐待防止法成立
平成17年 (2005)	<ul style="list-style-type: none"> ・社協だより全戸配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・JR福知山線脱線事故 ・個人情報保護法施行 ・障害者自立支援法公布
平成18年 (2006)	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次地域福祉活動計画策定 (平成18年度～平成22年度) ・東大和市における地域福祉に関する意識調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・WBC王ジャパン初代王者に
平成19年 (2007)	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日の一部開所を試行実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回東京マラソン開催 ・新潟県中越沖地震発生 ・高齢人口21%超(超高齢社会)
平成20年 (2008)	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス総合支援事業(あんしん東大和)開始 ・車いす貸出事業を「車いすステーション事業」として実施 ・成年後見活用あんしん生活創造事業開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーマンショック ・秋葉原無差別殺傷事件 ・後期高齢者医療制度開始
平成21年 (2009)		<ul style="list-style-type: none"> ・衆院選、民主党単独過半数で政権交代 ・裁判員裁判スタート
平成22年 (2010)		<ul style="list-style-type: none"> ・「はやぶさ」が地球に帰還 ・チリ鉱山で落盤事故発生
平成23年 (2011)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいなごやかサロン事業開始 ・第三次地域福祉活動計画策定 (平成23年度～平成27年度) ・避難者の孤立化防止事業開始(～平成28年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災 ・改正介護保険法公布 ・障害者虐待防法公布
平成24年 (2012)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の地区担当制を試行開始 ・ウエルカム計画相談開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者総合支援法公布 ・東京スカイツリーが開業

東大和社協50年の歩み(2013-2017)

年	社会福祉協議会のできごと	社会のできごと
平成25年 (2013)	<ul style="list-style-type: none"> •社協イメージキャラクター「しゃぎょうのたまちゃん」誕生 •法人化40周年記念事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> •生活困窮者自立支援法公布 •子どもの貧困対策法公布 •障害者差別解消法公布 •改正障害者雇用促進法公布
平成26年 (2014)		<ul style="list-style-type: none"> •消費税5%から8%へ引き上げ •国際連合「障害者権利条約」に日本が批准 •御嶽山噴火
平成27年 (2015)	<ul style="list-style-type: none"> •災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル策定 •生活支援コーディネーター事業開始 •福祉のしごと相談面接会 •高齢者・障害者食事サービス廃止 	<ul style="list-style-type: none"> •北陸新幹線開業 •マイナンバー制度開始 •認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)公表 •改正介護保険法公布
平成28年 (2016)	<ul style="list-style-type: none"> •第四次地域福祉活動計画策定(平成28年度～平成32年度) •事業継続計画(BCP)策定 •こども食堂活動開始 •社会福祉法人地域公益活動連絡会発足 	<ul style="list-style-type: none"> •熊本地震発生 •障害者施設で殺傷事件 •出生数初の100万人割れ •改正社会福祉法公布
平成29年 (2017)	<ul style="list-style-type: none"> •東大和介護予防ポイント(元気ゆうゆうポイント)事業開始 	<ul style="list-style-type: none"> •九州北部豪雨災害 •ホームレス自立支援法改正

東大和社協50年の歩み(2018-2023)

年	社会福祉協議会のできごと	社会のできごと
平成30年 (2018)	<ul style="list-style-type: none"> 社協経営改善緊急3か年プラン策定 (平成30年度～平成32年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 西日本豪雨災害 北海道胆振東部地震 「はやぶさ2」小惑星に到着 改正社会福祉法施行
令和元年 (2019)	<ul style="list-style-type: none"> ファミリーサポートセンター事業開始 (さわやかサービス事業拡大) 新型コロナウイルス感染症に関する特例貸付事業開始 	<ul style="list-style-type: none"> 消費税が10%に引上げ(一部を除く) 新元号は「令和」 台風15号、19号による全国的な風水害の発生
令和2年 (2020)	<ul style="list-style-type: none"> ウエルカム基幹相談支援センター事業・地域生活支援拠点事業開始 ひきこもり家族会準備会立上げ 第5次地域福祉活動計画策定 (令和3年度～令和8年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大。東京五輪延期 山手線に「高輪ゲートウェイ駅」開業
令和3年 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> 財政計画策定(令和3年度～令和8年度) 生理の困窮への取組開始 ひきこもり家族会「つながり」発足 フードバンク事業開始  	<ul style="list-style-type: none"> 東京五輪開催(無観客開催) 熱海市で土石流災害
令和4年 (2022)	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい歩こう会 終了 	<ul style="list-style-type: none"> ロシアがウクライナへ侵攻 サッカーW杯で日本ベスト16
令和5年 (2023)	<ul style="list-style-type: none"> 法人化50周年記念事業実施 ひきこもり支援事業開始 	<ul style="list-style-type: none"> こども家庭庁発足 インボイス制度開始 藤井聡太史上初八冠達成 大谷翔平ア・リーグ日本人初の本塁打王

最近10年間における新たな取組

新型コロナウイルス特例貸付事業

東京都社会福祉協議会の委託事業で、新型コロナウイルスの影響による休業や失業等により、収入が減少した世帯に貸付を行いました。

令和4年9月末で新規の受付は終了しましたが、その後も生活が困窮している世帯が多い状況となっています。

償還も始まり償還手続きについての相談も増加しています。返済困難な家庭が多く償還免除及び償還猶予などの手続きを実施しています。



状況に応じた相談、制度の説明

災害対策関係



災害ボランティアセンター設置・運営訓練

東日本大震災を経て、大規模災害時における社会福祉協議会の役割は、災害ボランティアセンターの設置・運営を中心に、非常に重要なものと広く認識されました。本会では、平成24年に市と「災害時におけるボランティア活動の協力に関する協定」を締結し、翌平成25年には市民の主体的参加を得て「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を策定しました。また、同年度以降、災害ボランティアセンター協議会を組織し、毎年災害ボランティアセンター設置・運営に係る訓練を継続しています。

子ども食堂（ふれあいのまちづくり事業）

孤食など子どもの食の問題に着目し、ボランティアを中心とした子ども食堂の活動について、支援を実施しています。当初うまかんべえ～まつりをきっかけに組織された「南親会」による南街子ども食堂の支援から開始し、後に芝中子ども食堂も登録しています。また、登録外の子ども食堂についても、情報提供や連絡会の参加促進等を通じ、連携や活動の活性化を図っています。



子ども食堂の様子

東大和市社会福祉法人地域公益活動連絡会



地域安全パトロールステッカーを作成しました

平成28年の改正社会福祉法において、社会福祉法人の公益性・非営利性を踏まえ、社会福祉法人の本旨から導かれる本来の役割を明確にするため「地域における公益的な取組」が求められました。東大和市の地域のために公益活動を積極的に促進していくことを目的に東大和市内の全ての社会福祉法人が一丸となり「東大和市社会福祉法人地域公益活動連絡会」を発足し、地域安全パトロールや生活困窮者への支援を実施しています。

最近10年間における新たな取組

生活支援コーディネーター事業・介護予防ポイント事業（ゆうゆうポイント事業）



ゆうゆうポイント事業の活動風景

介護予防・日常生活支援総合事業にあたり、高齢者の生活・介護予防サービスの体制整備を推進することを目的とし、第1層生活支援コーディネーターとして事業を実施しています。市内7か所の第2層協議体及び4名の第2層コーディネーターと共に、事業を推進しています。

介護予防ポイント事業は、介護予防及び認知症の予防を目的とした活動に参加した高齢者にポイントを付与することにより、介護予防活動への参加の促進及び健康寿命の延伸、更に介護予防活動の活性化を目的に実施しています。

年2回、景品交換を実施しています。

生活困窮者食糧支援事業（フードバンク事業）

食料等の支援が必要な市民に対して、食品等を無償で配布する事業として実施しています。企業や市民からの寄附を募り、年に3回の配布（フードパントリー）を実施しています。食品の仕分けや配布にはフードバンク連絡会と連携を図り実施しています。



集めた食品の仕分け

ひきこもり支援事業



家族会の会合

ふれあいのまちづくり事業の一環として令和2年度から、8050問題をテーマに見守り・声かけ活動の協力員研修会を行ったことを契機として、ひきこもり家族会設立に向け活動を始め、その後、家族会が立ち上がりました。令和5年度から市の受託事業としてひきこもり相談支援コーディネーターを設置し、当事者、家族への支援等ひきこもり支援に向けた事業を推進しています。

広報の充実化

新たな広報の取り組みとしてX（旧Twitter）の運用を開始しました。SNSを利用している層を対象にし、PRも行いました。

広報紙の発行やホームページの更新情報、イベント時の報告等に活用しています。社協のたまちゃんもこの10年間、様々な取材やイベントで広報役として活躍しています。



福祉祭で活動するたまちゃん

地域生活支援拠点事業



一人ひとりに寄り添った支援

障害のある方の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、さまざまな関係機関が連携し、住み慣れた地域で暮らし続けるために5つの機能（①相談機能、②緊急時の受入・対応の機能、③体験の機会・場の機能、④専門的人材の確保・養成の機能、⑤地域の体制づくりの機能）を整備して、障害のある方の生活を地域全体で支えるしくみとして、地域生活支援拠点事業「ういづねっとi(アイ)」を、令和2年度から開始しています。

法人化50周年記念事業

東大和市社会福祉協議会は昭和48（1973）年3月に法人化され、令和5（2023）年3月に50周年を迎えました。

これもひとえに、市民の皆様を始め多くの関係機関の皆様のご協力の賜物です。これまで本会を支え、発展のためにご協力をいただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

法人化50周年を記念して、本会では法人化50周年記念事業を実施しました。

表彰状・感謝状贈呈

本会の活動に功労のあった個人や団体等に対し、表彰状及び感謝状の贈呈を行い、感謝の意を表しました。(580名)

記念式典

より多くの皆様に社会福祉協議会について理解を深めていただくために、50周年記念式典を開催しました。

記念誌

50年の歩みを振り返るとともに、今後の取組をまとめました。
50年間の歴史や事業紹介を掲載しています。

記念ロゴ

たまちゃん原作者の方にご協力いただき、法人化50周年を記念し、記念ロゴを作成しました。



法人化 50 周年記念式典

令和5年10月14日(土)、市民会館(ハミングホール)において、法人化50周年記念式典を開催しました。



第一部の表彰式では、表彰状・感謝状受賞者580名を代表して、6名の方に賞状を贈呈しました。第二部では、当市にゆかりのある皆様によるアトラクションを披露していただきました。当日、会場には約500名の皆様にご来場いただき、盛況のうちに開催することができました。これまでの皆様のご支援ご協力を改めて感謝申し上げますとともに、次の50年に向け、市民の皆様をはじめ、東大和市、関係団体等と協働しながら、地域福祉の推進に取り組んで参ります。



式辞 東大和市社会福祉協議会会長 中澤正至



受賞者代表
小泉美佐子様



法人化50周年記念事業実行委員長
樋口健次様



第二部記念アトラクション ER'Sによるダンス



第二部記念アトラクション
林家まる子カレー子による漫才



第二部記念アトラクション
大和まほろぼ太鼓による和太鼓演奏

データで見る東大和社協

東大和市データ

人口:84,920人
うち65歳以上:23,431人
※令和5年3月31日時点

令和4年度実績

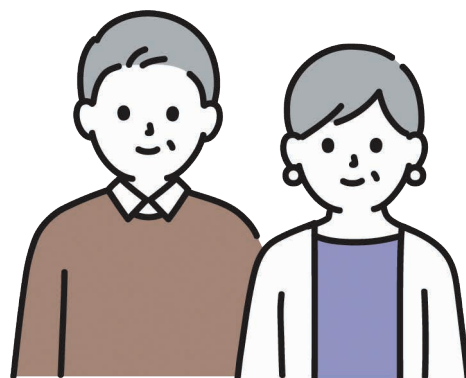
東大和市社会福祉協議会 会員



- ・個人会員:1,977人
- ・賛助会員(事業所):37件
- ・福祉団体会員:24件

自治会員、管理組合員、事業所・団体等に会員加入の協力を依頼しています。

見守り・声かけ活動



- ・利用者:260人
- ・協力員:258人

高齢者が安心して暮らせるよう、見守り・声かけ活動を行っています。

ボランティア・市民活動センター

- ・個人登録:72人
- ・団体登録:24団体

ボランティア活動をしてみたい方への活動紹介、ボランティアを必要としている方への紹介など、様々なボランティア活動に関する相談を受け付けています。



ふれあいなごやかサロン

- ・登録団体:36団体

この活動は、地域の高齢者や子育て中の親子、障害のある方、そしてボランティアなど、「誰もが」対象となり得ます。そして参加者全員が主役です。同じ地域の人たちとの交流を通じ、孤立することなく地域でいきいき、楽しく暮らしていくことを目的とした活動です。



権利擁護事業 あんしん東大和

・権利擁護に関する相談: **6,538件** ※成年後見制度に関する相談: 1,147件

・成年後見専門相談: **18件** ・ふくし法律相談: **17件**

・苦情相談対応: 延べ**14件**

東大和社協「あんしん東大和」では、高齢者や障害がある方が住み慣れた地域で“あんしん”して生活していくためのお手伝いをしています。



ファミリーサポート事業

・子育て支援: **306件**

・高齢者等支援: **2,573件**

・子育て会員: **36人**

・高齢者等会員: **82人**



できることを、できるときに協力し、お互いが助け合いながら、生活していくことを目的とした、住民参加による有償サービスです。福祉に理解のある方々の協力で行う、会員登録制のサービスです。

車いすステーション

・ステーション数: **28か所**

市内各地域に車いすステーションを設置し、高齢者や障害者(児)、怪我をした方等に、車いすの貸出しを行います。

市内車いす
ステーション
一覧

詳しくは右のコードから



ホームヘルパーステーション

・登録ヘルパー: **20名**

・活動回数: **11,702回/年**

※障害者支援に関する活動:
2,657回/年

住み慣れた地域で安心して過ごしていただくために、介護保険制度及び障害者総合支援制度における身体介護や生活援助等を提供します。



ケアマネジメントセンター

・利用回数: **1,345回**

介護保険のサービスを利用するために必要な、居宅サービス計画(ケアプラン)を作成します。

精神障害者

地域生活支援センター

・地域活動支援センター利用者: **7,967名**

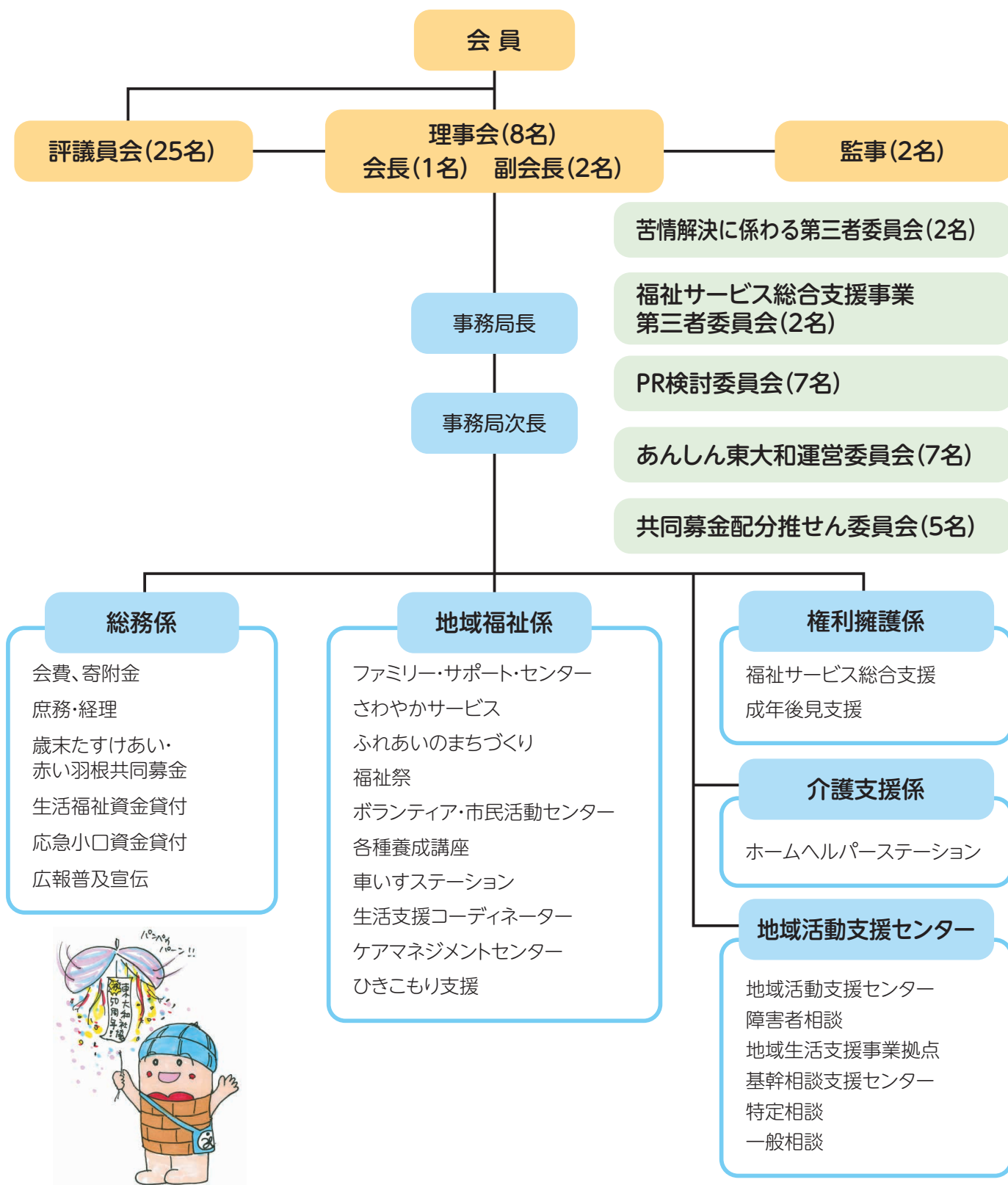
・地域活動支援センター相談件数: **5,946件**

・特定相談支援事業契約者: **185名**

東大和市内で生活している精神障害のある方々や家族が安心して暮らせるように日常生活の相談や地域交流等、一緒に考え支援する場です。



組織図・評議員・役員 (令和5年10月1日現在)



多くの皆様に支えられ、50周年という大きな節目を迎えることができました。

今日までの感謝を心に刻み、今後も誰もが暮らしやすいまち、ひがしやまとを目指し、市や市民の皆様と地域福祉活動に取り組んで参ります。

社会福祉法人東大和市社会福祉協議会 役職員一同



東大和市社会福祉協議会 法人化50周年記念誌

2024年1月発行

発行 社会福祉法人 東大和市社会福祉協議会

〒207-0015 東京都東大和市中心3-912-3

TEL 042-564-0012(代表)

FAX 042-564-3680

URL <https://www.higashiyamatoshakyou.or.jp/>

ホームページ▼



Xアカウント▼



印刷 ジャパンプリント株式会社